

# ロボット産業を振興する「ロボット大賞」

一般社団法人日本機械工業連合会 「ロボット大賞」 運営事務局

(一社)日本機械工業連合会は、ロボット産業振興の一助として、2006年から経済産業省と共催で「ロボット大賞」を実施している。2016年度の第7回ロボット大賞からは、共催者に総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省が加わり、ロボットがより広く社会課題の解決につながるように表彰の対象を広げている。

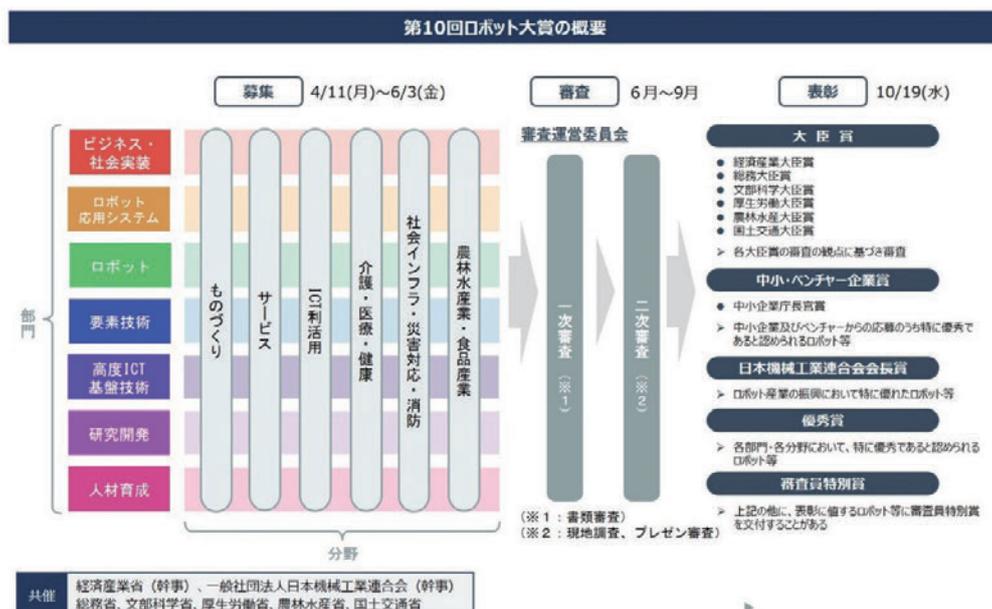
日本は、従来からロボットの多様な可能性に着目してきており、ペットに似せたロボットにより人に安らぎや驚きを与える先駆的な試みや、人型ロボットやサービスロボットの分野で世界をリードするなど、産業分野を中心にしつつも多くの分野でロボットの導入・活用が進められている。ロボット技術は、機械工学、エレクトロニクス、ICT(情報通信)技術、要素技術、素材技術など幅広い技術の統合として生み出されており、日本はこれらの技術分野でも高い技術力を有している。

一方で、日本は世界より早いスピードで少子高齢化が進展しており、これに伴う労働人口の減少や、老朽インフラ・災害対応など、多くの社会課題を抱える課題先進国でもある。そのため、高い技術力を有するロボットにより、幅広い社会課題の解決が期待される場所である。そのような

背景もあり、製造現場におけるロボットの活用に加え、人手不足などの課題に直面する物流施設や、警備・案内・ビル管理などのサービス分野、介護・医療・健康分野、社会インフラ・災害対応・消防分野、農林水産業・食品産業など幅広い分野でのロボットの活用が徐々に進みつつある。さらに近年では、新型コロナウイルスなどの課題への対応や、DXをはじめとした社会変革への一助として、ロボットの活躍が広く社会に浸透しつつある。

このような認識のもと、「ロボット大賞」では、これらロボットの産業振興を目的として、(1)表彰によるロボット関係者のモチベーションアップ、(2)ベストプラクティスの紹介によるロボット技術の普及、(3)ロボットの社会実装による新社会システムの実現、(4)研究開発高度化の促進、(5)人材育成の促進など、製造現場から日常生活までの様々な場面でロボットが活用され、ロボットによる「生活の質の向上」が実現されることを目指して、日本の優れたロボットや要素部品などの表彰を、隔年にて実施している。表彰位は、経済産業大臣賞など6つの大臣賞、中小企業庁長官賞、日本機械工業連合会会長賞などである。

今回、「第10回ロボット大賞」を、2022年4月～6月の期



■ 図. 第10回ロボット大賞の概要

間に、以下の6分野・7部門を対象に優秀なロボット等の募集を実施した。

募集の結果、100件を超える応募を経て、以下の13件の案件を選定した。併せて、今回、「ロボット大賞」が第10回を迎えることを記念し、第1回から第9回までの受賞案件の中から、特に大きな社会的インパクトを与え、ロボットの普及拡大につながったものについて2件の記念特別賞を選定した。

## ■「第10回ロボット大賞」

- ・経済産業大臣賞  
モバイルロボットLD/HDシリーズ  
[オムロン株式会社]
- ・総務大臣賞  
水空合体ドローン  
[株式会社KDDI総合研究所/KDDIスマートドローン株式会社/株式会社プロドローン]
- ・文部科学大臣賞  
toio™ (トイオ)  
[株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント]
- ・厚生労働大臣賞  
hinotori™サージカルロボットシステム  
[株式会社メディカロイド]
- ・農林水産大臣賞  
自動収穫ロボットを活用した再現可能な農業の実現  
[AGRIST株式会社]
- ・国土交通大臣賞  
切羽作業を機械化する山岳トンネル施工ロボット  
[大成建設株式会社/前田建設工業株式会社/古河ロックドリル株式会社/マック株式会社]
- ・中小・ベンチャー企業賞(中小企業庁長官賞)  
惣業盛付ロボット「Delibot™」  
[コネクテッドロボティクス株式会社/TeamCrossFA]
- ・日本機械工業連合会会長賞  
X-Area ロボット配送サービス  
[パナソニック ホールディングス株式会社/Fujisawa SSTマネジメント株式会社]
- ・日本機械工業連合会会長賞  
ケーブル認識用3Dビジョンセンサー KURASENSE (クラセンス)  
[倉敷紡績株式会社]
- ・優秀賞(社会インフラ・災害対応・消防分野)

トンネル点検システム「iTOREL (アイトーレル)」

[東急建設株式会社/東京大学/湘南工科大学/東京理科大学/株式会社小川優機製作所/株式会社菊池製作所]

- ・優秀賞(ICT利活用分野)  
小規模土木工事現場のICT施工  
(SMARTCONSTRUCTIONRetrofit、SMARTCONSTRUCTIONQuick3D、SMARTCONSTRUCTIONDashboard)  
[株式会社EARTHBRAIN]
- ・優秀賞(ビジネス・社会実装部門)  
介護用パワーアシストスーツJ-PAS fleairy (ジェイパスフレアリー)  
[株式会社ジェイテクト]
- ・優秀賞(研究開発部門)  
力制御可能な全身人型ロボット「Torobo」  
[東京ロボティクス株式会社]
- ・記念特別賞  
アザラシ型メンタルコミットロボット「パロ」  
(第1回ロボット大賞優秀賞受賞)  
[株式会社知能システム/国立研究開発法人産業技術総合研究所/マイクロジェニックス株式会社]
- ・記念特別賞  
移動ロボット用の小型軽量な測域センサURGシリーズ  
(第1回ロボット大賞優秀賞受賞)  
[北陽電機株式会社]

なお、これまでの「ロボット大賞」の受賞者からは、①販売・契約数の増加、②広告効果(知名度・ブランド力向上)、③研究の発展・加速などに効果があったと評価をいただいている。

(一社)日本機械工業連合会では、今後も引き続き、ロボット産業の普及拡大につながるよう、ロボット開発者のモチベーションの向上と、新たなユーザーとの連携や導入が進み、更なるロボットの社会実装につながることを期待し、「ロボット大賞」を継続していく考えである。

最後に、我が国のロボット技術の発展に日々取り組まれている皆様方、また審査員など関係者の皆様のご尽力に、重ねて感謝申し上げます。

## 参考:

ロボット大賞HP (<https://robotaward.jp/index.html>)